

令和 8 年度 事業計画及び収支予算

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

一般社団法人つくばスマートシティ協議会

目次

- 1 令和 8 年度事業計画の基本的な考え方
- 2 事業活動の内容
 - (1) 実証事業
 - (2) 会員間の交流の促進
 - (3) 情報発信活動
- 3 法人の運営に関する事項
- 4 その他

令和 8 年度事業計画の基本的な考え方

本協議会は、つくばスーパーサイエンスシティ構想（以下「本構想」）で取り組む分野ごとに分科会を設置し、会員間の交流を促進し、会員が相互に知恵を出し合い、協力し、連携するプラットフォームとしての機能を充実させ、大胆な規制・制度改革やデータ連携を伴う先端的サービス等の組成や実証、さらには社会実装につなげるための事業を推進していきます。

スーパーシティ型国家戦略特別区域に係る指定申請に際し、つくば市が政府に提案した本構想は、つくばに集積する科学技術から地域社会の課題解決に資する選択肢を提示し、ひいてはつくば市に便利で快適な人中心の未来都市を先行実現するとともに、つくば市のみならず日本全体の持続的発展に寄与することを目指しています。

令和 7 年度から、本構想は住民とのつながりを深化させ、実証から実装へ取組を重点化する「ミドルステージ」へとフェーズアップし、構想の実現に向け取組を加速させています。

法人を設立してから 2 年が経過し、本構想の推進基盤として必要な本協議会を中核とした産学官民連携体制やデータ連携基盤の運用等の体制が一層強化されました。これにより、これまでの実証成果をさらに社会実装へと着実につなげていくことを重視し、取組を加速させていきます。また、スーパーシティ型国家戦略特区としてのつくば市や本協議会に期待される役割を踏まえ、住民の課題解決に真に資する先端的サービス等の新しい事業分野の開拓にも積極的に取り組みます。加えて、本構想の国内外への周知や広報活動にもより一層注力してまいります。

事業活動の内容

(1) 実証事業

先端的サービス等の社会実装を見据えた実証事業等の取組を推進します。また、当該取組を加速するため、政府のスマートシティ関連事業等の積極的な活用を検討していきます。このほか、各分科会を横断する事業として、地域との信頼関係のもと、住民・企業・行政・大学・研究機関が地域課題を共に議論できる場を構築し、産学官民の多様な分野の提案を地域の実情に合わせてコーディネートすることで、現場の声を反映した持続可能なサービスとして自走化・事業化できる環境を整備します。

なお、意見集約とAI分析の仕組みについては、令和9年度以降のスーパーシティ全体での活用を見据え、令和8年度はパークマネジメントをユースケースとして取組を進めます。

(2) 会員間の交流の促進

会員間の交流の場として、懇親会等を開催します。他地域におけるスマートシティの動向やスマートシティに資する最新技術に関する情報を収集・共有します。

(3) 情報発信活動

① WEB ページの発信強化

協議会活動の積極的な発信を行います。各分科会の活動、リーダー会の開催、住民説明会等の報告及び各会員のプロダクトを、協議会公式ウェブサイトをはじめ各媒体を活用し分かりやすく発信します。また、今後の持続可能な協議会活動のため、企業版ふるさと納税の関連情報発信を推進します。

② パンフレット制作

事業者、市民を含む国内外への事業内容の周知や報告、活動状況紹介のため、パンフレットを制作・改訂します。

③ 技術展示会等への出展

技術展示会等の開催や各種展示会等のイベントへの出展を通して、本協議会の活動や会員機関の取組について情報発信及び広報活動を行います。会員のチラシ制作や出展の支援等を想定しています。

事業支出		計画（円）
① 事業費		
事業委託費（情報連携システム基盤運用管理業務）	10,537,780	
事業支援費	12,000,000	22,537,780
② 交流費		
イベント経費	960,000	960,000
③ 広報関連費		
WEB ページ管理費	456,000	
印刷製本費	990,000	
催事費	2,782,000	4,228,000
合計		27,725,780

法人の運営に関する事項

本協議会に事務局を設置し、総会、理事会等の開催や所有財産の管理及び税務処理等の本協議会の運営及び事業執行の円滑化を図ります。

また、本構想において重点的に取り組む分野その他の分野について分科会を設置し、会員が相互に知恵を出し合い、協力し、連携するプラットフォームとしての機能を充実させ、大胆な規制・制度改革やデータ連携を伴う先端的サービス等の組成や実証、さらには社会実装につなげるための活動を推進するほか、本構想に関する取組を他地域へ横展開していくため、視察や講演依頼の受入れを行います。

(1) 会員について

本協議会の活動をより活性化するため、会員数の増加に努めます。

(2) 会議等の運営

○社員総会

会議名	開催時期	議事事項
定時総会	令和8年6月	・令和7年度事業報告・決算の報告及び承認 ・令和8年度事業計画・収支予算の報告 ・役員の選任

この他、必要に応じて臨時総会を開催

○理事会

会議名	開催時期	議事事項
理事会	令和8年5月	・令和7年度事業報告・決算の承認 ・総会議案の決定、定時総会の招集
	令和9年3月	・令和9年度事業計画・収支予算の承認

この他、必要に応じて理事会を開催

○分科会の運営

本構想において重点的に取り組む分野その他の分野について分科会を設置し、会員が相互に知恵を出し合い、協力し、連携するプラットフォームとしての機能を充実させ、大胆な規制・制度改革やデータ連携を伴う先端的サービス等の組成や実証、さらには社会実装につなげるための活動を行います。その際、必要に応じて大学・研究機関の研究者等の有識者を交え、検討の活性化を図ります。

(3) その他本協議会の運営

住民意向を把握するため、「住民の声を聴く」イベントを開催します。

総会、理事会等の開催や所有財産の管理及び税務処理等の本協議会の運営及び事業執行の円滑化を図るため、事務局設置を継続します。また、税理士との年間契約を継続し、本協議会の適切な運営に努めます。

運営支出		計画（円）
管理運営費		
会議費	300,000	
旅費	1,600,000	
財産管理費	554,000	
その他管理費	2,650,000	5,104,000
合計		5,104,000

収入		計画（円）
会費		
年会費 300,000 円×27 社	8,100,000	
100,000 円×23 社	2,300,000	10,400,000
事業費		
視察費 100,000 円×5 回	500,000	500,000
補助金等		
負担金		
情報連携システム基盤運用管理費		
助成金	10,537,780	
まつりつくば助成金	362,000	10,899,780
雑収入		
交流会費	330,000	330,000
合計		22,129,780